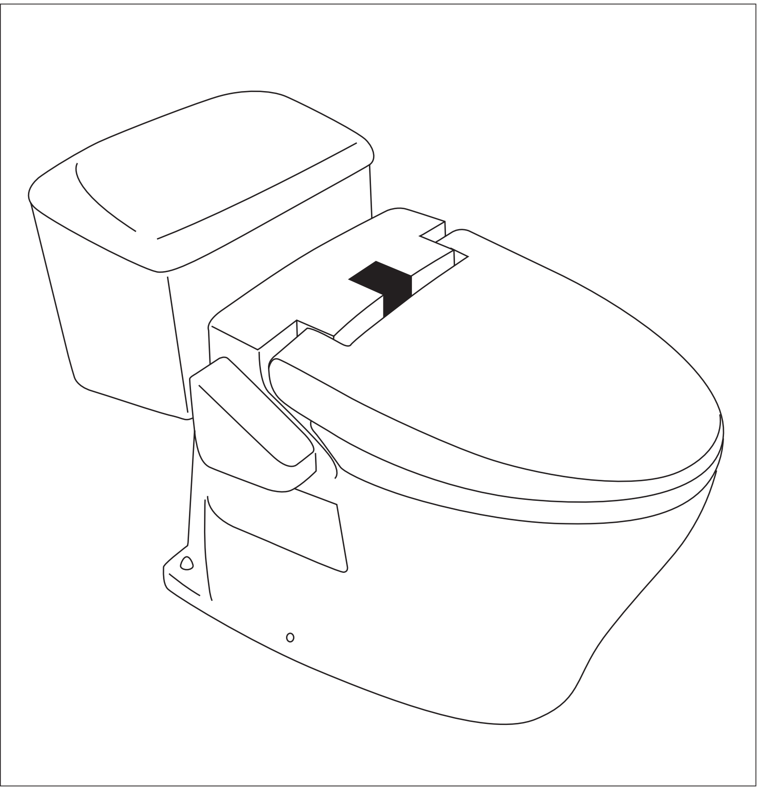
Janis

FP252S 08.10

e-fitClean

取扱説明書（保証書付き）



安全上の注意	1
各部の名称と働き	3
ご使用方法	3
お手入れ方法	4
調整方法	5
長期間使用しない場合	5
凍結防止方法	5
修理を依頼される前に	5
アフターサービスについて	6
保証書	裏表紙

このたびは当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書は保証書付きですので大切に保存してください。
便座につきましては便座に添付されております取扱説明書をお読みください。

保　証　書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書ご提示の上、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

<table>
<tr><td>品名：

品番：</td><td>保証期間</td><td>取付け・引渡し日より2年：全般

取付け・引渡し日より5年：特定機能等（別表による）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様
お名前
ご住所
電話番号</td><td colspan="2">取付け・引渡し日　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">取扱店</td></tr>
</table>

別表

品　名	特定機能等
便器	①防水機能
湯水混合水栓	①水栓の胴体部
洗面化粧ユニット	①洗面器の防水機能 ②水栓の胴体部 ③キャビネット本体の剛性
洗濯機用防水パン	①防水機能
洗面器・手洗器	①洗面器・手洗器の防水機能 ②水栓の胴体部

注）1.防水機能の保証は、例えば便器や洗面器などの水受け容器のひび割れによる水漏れ等の場合に適用されます。
2.水栓の胴体部の保証は、例えば水栓本体のうち、接続部を除く弁箱の腐食、ひび割れによる水漏れ等の場合に適用されます。
3.キャビネット本体部の剛性の保証は、例えば本体各部の接合部や構成部材の破損等に適用されます。

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」「製品貼付ラベル」などの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、表記の期間無料修理いたします。
2.無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理をご依頼できない場合は、「取扱説明書」に掲載の最寄りの当社支店・営業所にご相談ください。
4.保証期間内でも、次の場合には有料修理とさせていただきます。
①住宅用途以外で使用した場合の不具合
②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
③施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
④建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する不具合
⑤塗装の色あせ等の経年変化または使用にともなう摩耗等による外観上の不具合
⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
⑦ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
⑨消耗部品の劣化による不具合
⑩配管への異物流入に起因する不具合
⑪温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合
⑫寒冷地仕様でない場合の凍結による不具合
⑬指定規格以外の電源を使用したことによる不具合
⑭電気・給水の供給トラブル等に起因する不具合
5.本書の取付け・引渡し日、取扱店、お客様の欄に記載のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合は無効となります。
6.本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な点がある場合は、お買い求めの取扱店または当社支店・営業所にお問い合わせください。
※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

ジャニス工業株式会社

本　　社　　〒479-8577　愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地　TEL（0569）35-3151

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ・・・・・・ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

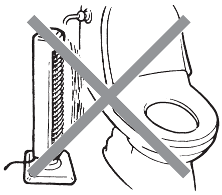
🚫 ・・・・・・ 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

❗ ・・・・・・ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警 告

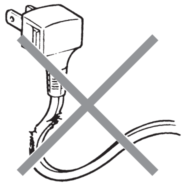
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。

タンク、便座、便ふたなどの樹脂部品にストーブやヒーターなどを近づけないでください。
※変色や故障、火災の原因になります。

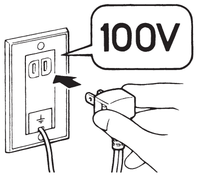


電源プラグや電気製品に、水をつけたり、かけたりしないでください。
※故障や感電、発火の原因になります。

電源コードは曲げたり、折ったり、ねじったり、傷つけたり、加工を絶対にしないでください。
※感電や発火の原因になります。



電源は交流100Vを使用し、コンセントにガタツキの無いことを確認のうえ、根元までしっかり差し込んでください。
※交流200Vや直流電源を使用しますと、故障や発火の原因になります。

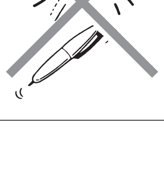


⚠ 注 意

タンク内にトイレ用芳香剤を入れないでください。※止水不良や洗浄不良の原因になります。

便器には新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど詰まり易いものは流さないでください。
※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。

鉛筆、ボールペン、くし、歯ブラシなどは、内部でつかえるので、もし誤って便器内に落とした場合は、必ず拾い出してください。
※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。

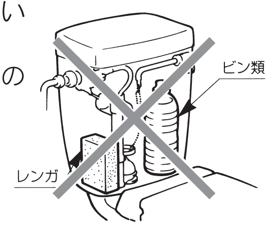


便器の排水路が詰まった場合は、そのままで水を流さないでください。
※便器から汚水があふれて家財を汚す原因になります。詰まった時には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使用して汚物を除去してください。

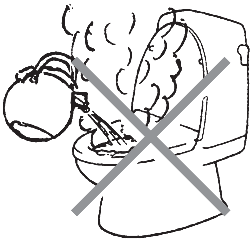
⚠ 注 意

梅雨時や、冬場の暖房時にタンク表面に結露が発生した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
※床にシミを作ったり、床を腐らせる原因になります。

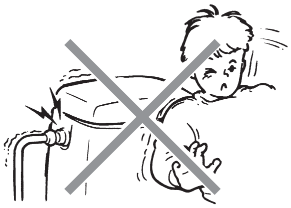
洗浄量を減らすため、タンク内にビール瓶やレンガなどを入れないでください。
※作動不良や詰まりの原因になります。



便器に熱湯をかけないでください。
※便器が破損してケガをしたり、漏水により家財を汚す原因になります。



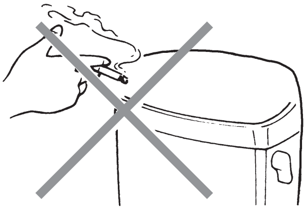
便器やタンクに衝撃を与えないようにしてください。
※便器が破損してケガをしたり、漏水により家財を汚す原因になります。



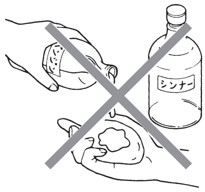
便ふたや便座の上に乗らないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

直射日光が当たらないようにしてください。
※便座、便ふたなどの樹脂部品が変色する原因になります。

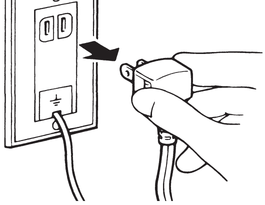
タンク、便座、便ふたなどの樹脂部品にタバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因になります。



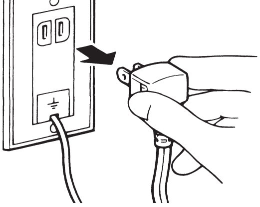
電源プラグや電気製品に、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ掃除用ティッシュ、クレンザー、クレゾール等を使用しないでください。
※樹脂が割れて感電や火災の原因になります。



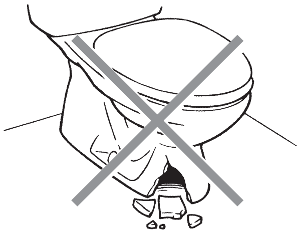
雷が発生しているときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
※故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときはコードを持たず、必ずプラグ部を持って抜いてください。
※コードが損傷して、感電や発火の原因になります。

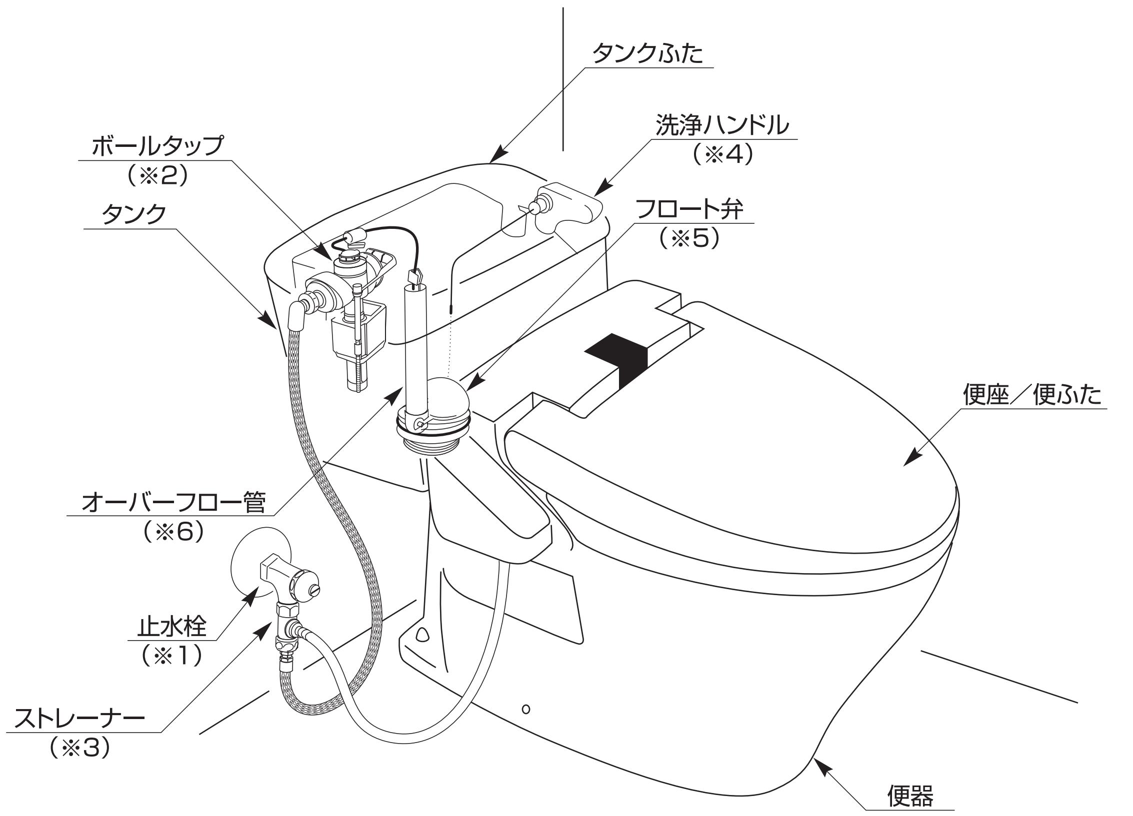


便器にヒビが入ったり、割れたりした場合、破損部に触れないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。



便器に汚物が付着し、洗浄しても容易に落ちないときは、そのままにしないで、掃除用ブラシなどで汚れを落とし、洗い流してください。
※乾燥して取れにくくなることがあります。

各部の名称と働き



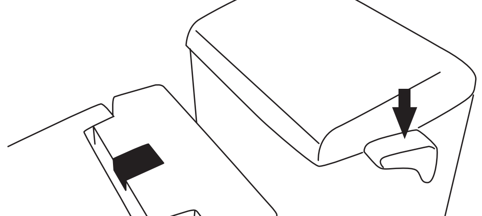
止水栓（※1） 水道水はここを通ってボールタップに行きます。保守・点検などで水を止めたり、給水量の調整を行うための弁です。	**ボールタップ（※2）** 水はここからタンクに入り、一定量たまると浮玉の浮力により自動的に水を止め、洗浄ハンドル操作と同時に自動的に給水を始めます。	**ストレーナー（※3）** ボールタップの中に配管内のゴミや砂などが入ると、故障の原因になります。これらのゴミや砂などがボールタップに入るのを防ぎます。
洗浄ハンドル（※4） フロート弁を持ち上げて、タンク内の水を便器内に流す役目をします。	**フロート弁（※5）** 洗浄ハンドルを操作することによりタンク内の水を便器内に流し、一定量流すと自動的に止水します。	**オーバーフロー管（※6）** 万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、タンクから溢れる前に、ここから便器の方へ水を流します。

ご使用方法

■便器内の洗浄方法

●用便後、汚物を流す場合には洗浄ハンドルを下側に押してください。

注意
●洗浄は「大」「小」兼用タイプになっています。
●前の洗浄から、間を置かずに次を行うと、洗浄ができない場合があります。このようなときは少し間をおき、タンク内に水が十分たまってから、操作してください。

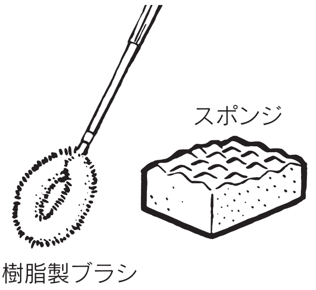


お手入れ方法

●器具はお手入れ次第で、いつまでも美しさを保ち、長持ちさせることができます。
日頃からこまめにお手入れしてください。
なお、クレンザーやみがき粉などの研磨剤の入った洗剤は、表面を傷つけますので、使用しないでください。

■便器内の洗浄方法

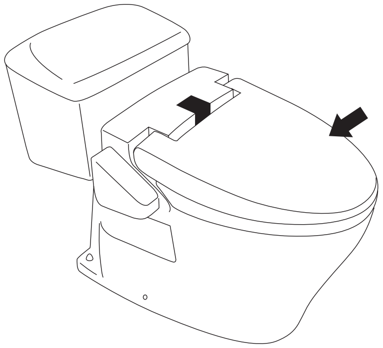
●便器の洗浄面は水で洗われますが、便の状態によっては付着して落ちにくいことがあります。そのままにしておきますと、乾燥して取れにくくなりますので、汚れたらすぐに洗い流してください。
汚れがひどい場合は、樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を含ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。



注意
●熱湯は使用しないでください。
●ガラス質を侵すフッソ化合物入りの洗剤は、使用しないでください。

■樹脂部のお手入れ

●便座、便ふた等は樹脂製品ですので、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を100倍程度に薄め、柔らかい布に含ませ、拭き洗いします。
このあと、必ず水拭きをして、最後に柔らかい布でから拭きしてください。

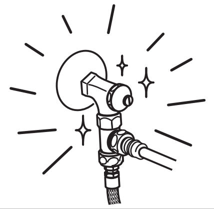


注意
●表面を傷つける恐れのあるクレンザー、みがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないでください。
●割れの原因となる中性洗剤以外の洗剤、ベンジン、シンナー等の溶剤や酸、アルカリ、熱湯は、使用しないでください

■止水栓・給水管等(メッキ部)のお手入れ

●見える部分の金具はめっきしてありますが、放っておくと汚れなどにより錆びが生じます。普段は柔らかい布で拭き、時にはミシン油などを染み込ませた布で、みがいてください。

注意
●表面を傷つける恐れのあるクレンザー、はみがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないで下さい。
●メッキを侵す恐れのある酸性の洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー等の溶剤は使用しないでください。



トイレのQ&A

Q:“おつり”ってなくならないの？

A:使用時のはね返り、俗にいう“おつり”は、水がたまっているところにあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと多少なくなります。

Q:流しても細かい残留物が残る

A:汚物の種類によってはまれに一度で流れないことがあります。その場合はもう一度流してください。

Q:タンクや便器の表面に水滴がつく

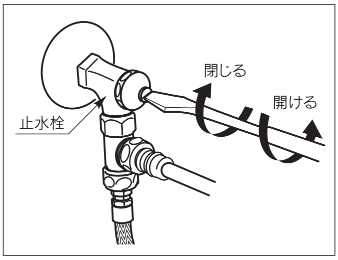
A:防露仕様の便器やタンクは、防露層を設けることで結露を極力抑えることができます。しかし、設置場所の条件により、結露することがあります。その際は換気をするなどして防止できますが、結露を見つけたらまめにふき取っておくことをおすすめします。

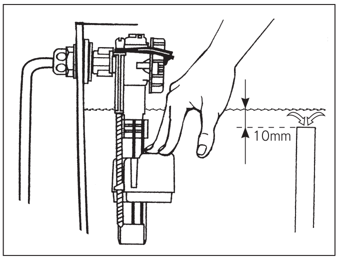
調整方法

●器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、不具合があったり何かの都合で動かした場合、
機能を十分発揮できるように、調整をしてください。

■給水量の調整

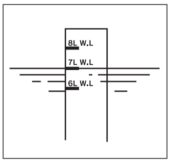
●万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水が溢れないようにするために、次の要領で調整を行ってください。
(1) 止水栓を閉じ、タンクのふたを外します。
(2) 浮玉を押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
(3) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に、止水栓の開きを調整します。

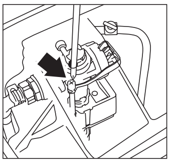




■水位の調整

●流水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されている W.L(標準水位)に合うように、浮玉を上下させて調整してください。
【浮玉の移動方法】
浮玉調整支持棒を右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。
※内筒穴から⊕ドライバーで調整してください。



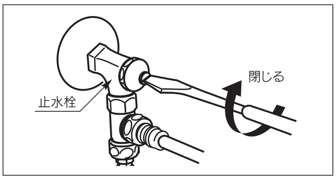


長期間使用しない場合

●旅行等で長い間使用しないときは、万一の故障等のために以下の操作を行ってください。

■止水栓を閉じる

●止水栓をマイナスドライバーまたはコイン等で右に回し、ロータンクへの給水を止めます。



注意
●回す前に、位置を印しておいてください。
●止水栓は施工時に調整してありますので、再使用時に元の位置に戻してください。

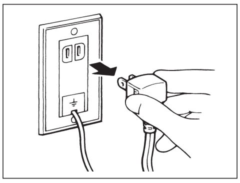
■タンクの水を抜く

●凍結の恐れがある場合、洗浄ハンドルを操作して洗浄水が流れなくなるまでタンク内の水を抜いてください。

注意
●便器トラップ内の水は、排水できませんので、汲み出すなどの処置が必要です。
●配管側で水抜き栓が設置されている場合、その操作も併せて行ってください。

■電源プラグを抜く

●コンセントから電源プラグをぬきます。



注意
●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ずプラグ部を持って抜いてください。

凍結防止方法

■標準式便器の場合

●室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

■ヒーター水抜併用便器の場合

●水抜栓を操作してロータンクへの給水を止め、配管内の水を抜いてください。
●洗浄ハンドルを操作してロータンク内の水を抜いてください。
⑴ハンドルを手で操作します。
⑵ハンドルを保持して洗浄水が流れなくなるまでロータンク内の水を抜きます。
●ヒーター便器の電源プラグをコンセントに差し込みます。

修理を依頼される前に

●簡単な故障については、ご家庭でも直すことが出来ますので、次のような点検をしてください。

■水が流れない。または水が止まらない

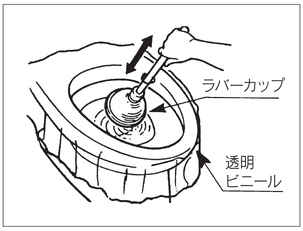
●フロート弁の鎖がはずれていることが予想されます。タンク蓋を開けて、鎖を取付けてください。
●フロート弁の鎖が引っかかっていることが予想されます。タンク蓋を開けて、引っかかっている鎖を元に戻してください。

■便器への洗浄水の勢いが弱い場合

●ボールチェーンが、たるみすぎていることが予想されます。少し張るように取付け直してください。

■便器が詰まった場合

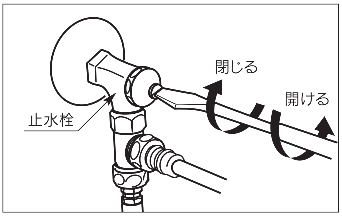
●汚物や紙が詰まった場合は、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）などを使用し、次の要領で取除いてください。
(1)便器排水口をふさぐようにして、ラバーカップを静かに押しつけます。
(2)勢いよく手前に引いたり、排水口に向けて押し付けたり数回繰り返し行います。このとき、透明ビニールシートなどでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。



注意
●固形の異物が詰まった場合は、除去できませんので、施工店に依頼してください。

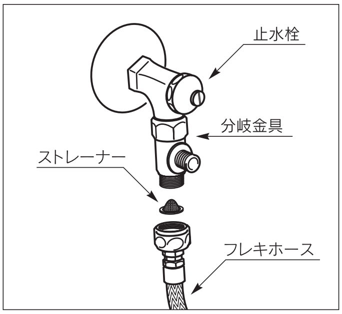
■タンクへの給水時間が長くなった場合

●止水栓が十分に開いていないことが予想されます。
止水栓を開いてください。



注意
●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

●ストレーナーが詰まっていることが予想されます。
以下の要領でストレーナーのゴミを取除いてください。
(1) 止水栓をマイナスドライバーまたはコイン等で右に回し、給水を止めます。
(2) フレキホースのナットをスパナなどでゆるめ、取外します。
このとき、布きれなどで金具を保護してください。
(3) 止水栓の入り口に組込まれているストレーナーを取り外して、掃除します。
(4) ストレーナーの掃除後、元のように取付けてフレキホースの袋ナットを締付けます。



注意
●ストレーナーは必ず取付けてください。

アフターサービスについて

■アフターサービスのお問い合わせ（フリーダイアル）
0120-117-817 受付時間／9：00～18：00　定休日／土、日、祝日

■点検・修理の依頼について

より安全にご使用いただくために、次の場合はお買い求めの取扱店または、最寄りの当社支店・営業所にご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用しても、ご不明な点や異常があるとき
●コードの傷みやコンセントのガタツキ
●コンセントやプラグの加熱

また、下記のような場合は、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
●ご使用上支障がなくても、長くお使いいただいているもの
●温泉地域など、特に腐食を起こしやすい所で使用されているもの

【連絡していただきたい内容】
1. ご住所・お名前・電話番号
2. 品名・品番・取付日（保証書をご覧ください）
3. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
4. 訪問ご希望日

■保証について

この商品には保証書が付いています。
●保証書は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●保証期間は、取付日より2年です。
なお、保証期間でも、有料になることがありますので、保証書の記載事項をよくお読みください。
●保証期間中の修理などアフターサービスについて、ご不明な点がございましたら、お買い求めの取扱店または、当社（支店・営業所）にお問い合わせください。

■保証期間中に修理を依頼されるとき

●もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常があるときは、お買い求めの取扱店または、当社（支店・営業所）にご相談ください。

■保証期間経過後に修理を依頼されるとき

●お買い求めの取扱店または、当社（支店・営業所）にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。